

ただちに国会を解散して、国民の信を問え 応能負担で社会保障の拡充を！

ほっかいどうの社会保障

2012年10月27日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

国民が主役の「憲法が生きる社会」の実現を！

渡辺治氏を迎えて、10.25「2012秋の大学学習講演会」

10月25日、道社保協、国民大運動実行委員会、消費税廃止連絡会の共催で「2012秋の大学学習講演会」が行われました。全道各地から150人が参加し秋からのたたかいについて意志統一しました。

講師の渡辺治さんは、「財界・アメリカいいなりの政治・経済から国民主役の福祉国会型の社会の実現を」と題して、情勢の大局とたたかいの展望について講演しました。

集会では、行動提起や決意表明も行われ、大橋晃道社保協会長もあいさつしました。来賓として、北海道生活協同組合連合会の前川和広専務理事もあいさつしました。



国民の運動が政治を動かしてきた 今こそ私たちの出番です。国民的な大運動を

渡辺氏は、はじめに、「民主党政権はなぜ誕生し、なぜ変節したのか、なぜ大連立政治か」に触れ、民主党政権は、軍事大国と構造改革に反対する国民の運動が誕生させたが、財界やアメリカの猛烈な巻き返しがあった、国民の世論と運動があるので大連立するしかないことを説明しました。



続いて、大連立政治は、社会保障費削減と消費税増税、TPPや原発推進、日米同盟強化、集団的自衛権容認、憲法改悪を進めようとしていると説明。一体改革について「消費税増税して、社会保障は拡充しない」と説明する人もいるが、社会保障を解体しようとしていると強調しました。この背景に、財界やアメリカが、儲けを追及するために、法人税を減税し社会保障費を削って保険料負担を軽減させる、その穴埋めを消費税増税で国民に負担させようとしていること、財界が海外で儲けるため、日本の軍備を増強し海外でも軍事活動ができるようにすることをめざしていることと指摘しました。原発の推進や輸出が財界の利益につながることも説明しました。

最後に、憲法9条を守る一点での共同は、安保や自衛隊を認める人も含めて広がり、全国7000の「9条の会」ができ、憲法改悪反対が過半数を超えた。また、原発やTPP反対の運動も広がっています。こうした一点での共同を国民連合へ広げることを強調し、そのためには対案も必要と指摘しました。原発問題で若者が参加しているのは、「自分の問題と考えているから」と、外国の青年研究生の悩みが徴兵制であることを紹介し、自分の問題と感じると運動に参加すると、その可能性を強調しました。

よりよい保育を！ 1時間で500筆以上の署名あつまる
10.27街頭 3時間ロングラン宣伝行動

27日、北海道保育団体連絡会は、「よりよい保育を！街頭ロングラン宣伝行動」を札幌大通公園で、午後1時から4時までの3時間、3つにグループに分かれて行いました。

午後3時から4時までの時間帯では、50人以上の保育士、保護者などが参加し、「子ども子育て新システムをはじめ社会保障・税一体改革をやめさせ、よりよい保育を求めるチラシを配布し、署名も呼びかけ、500筆以上の署名が集まりました。



国会を解散して国民の信を問え、社会保障・税一体改革をやめ、社会保障の充実を

10月29日(月) 国会開会日宣伝 に参加を 12:15～ 札幌パルコ前